

松山市地域振興構想(概要)

1. 構想策定の目的

- ・平成12年に『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想を掲げ、忽那諸島、風早、三津浜では、それぞれ構想や計画を策定し、行政と地域が協働して重点的な施策を実施してきたほか、まちづくり協議会などを中心とした市民主体のまちづくりを推進してきました。
- ・こうした取組の開始から一定期間が経過したことから、昨今の社会情勢の変化等を踏まえ、各地域の特性や課題を見つめなおし、今後のまちづくりの方向性を示すために策定します。

2. 構想の構成 ※計画期間:10年(令和7(2025)年度～令和16(2034)年度)

全体構想

市内全体の地域振興やまちづくりに共通する
理念や行動指針

地域別構想

忽那諸島、風早、三津浜、久谷の4地域それぞれの
10年後にめざすまちの姿や実現に向けた方針等

3. 全体構想

<地域振興の理念>

“たからみがき”のまちづくり ～人のつながりで未来をつむぐ～

- ・これまでの取組によって、個性的で特色のあるまちづくりが進められるとともに、地域の魅力や物語が途絶えることなく、次代へ受け継がれています。
- ・地域に愛着や誇りを持つ住民が主体となって、単に新しいものを作るのではなく、既存の地域資源を最大限に活用して地域振興を行うことは、これからのまちづくりでも重要な要素です。
- ・こうした取組を継承・発展し、市内全地域でフィールドミュージアム構想の実現をめざしていくため、各地域にある資源を「たから」とし、それをみがき、ストーリー性をもってしっかりと語り継いでいく「“たからみがき”のまちづくり ～人のつながりで未来をつむぐ～」を、市内全地域に共通する地域振興の理念とします。

<地域振興の理念に基づく行動指針>

- ・地域振興の理念に基づく行動指針として3つを掲げます。
- 3つの行動指針を良好なサイクルで回していくことで、地域独自の魅力を高めていきます。

行動指針1. 魅力を知る

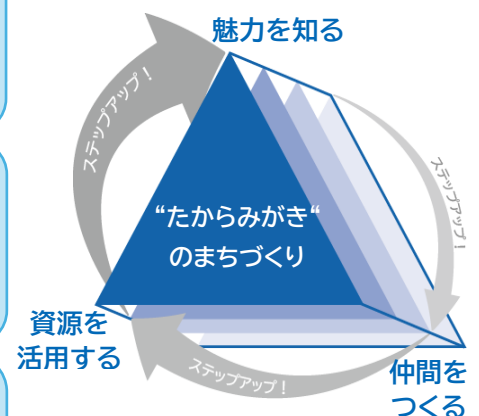
地域の魅力や価値を地域内で共有することで、愛着や誇りを醸成するとともに、たからをみがき、地域外へ発信することで、地域を大切にしたい、地域に関わりたいと思う人・仲間を増やしていきます。

行動指針2. 仲間をつくる

地域に関わりたいと思う人を受け入れる体制、他地域や教育機関等多様な主体との交流・連携の機会をつくることで、まちづくりの輪を広げるとともに、地域資源の更なる活用につなげていきます。

行動指針3. 資源を活用する

新しい仲間ができることは、新たなアイデアや取組の創出にもつながります。地域の特性を捉え、地域固有の資源を活用した独自のまちづくりを推進していくことで、地域の魅力を更に高めていきます。



4. 地域別構想(各地域がめざすまちの姿と、今後のまちづくりの方向性)

忽那諸島	<めざすまちの姿>
	島びとが輝き、島の宝を未来につなぐ、笑顔になれる里の島
	<実現に向けた方針>
	1. 里島の特性をいかした産業の振興や魅力の創出 2. 安全・安心な生活を守り、暮らしやすい里島を実現する 3. 時代の流れを捉えて挑戦し、里島に活力を生み出す
風早	<めざすまちの姿>
	豊かな自然や歴史文化が調和し、ここにしかない幸せを感じられるまち
	<実現に向けた方針>
	1. 多様な人々がつながることができる仕組みづくり 2. 豊かな自然など魅力ある地域資源を活用した新たな賑わいの創出 3. 地域の歴史や文化を継承し、活用する
三津浜	<めざすまちの姿>
	『住んで訪れて楽しいまち三津浜』人と人とが交流し港町の風情が息づくまち
	<実現に向けた方針>
	1. 港町の歴史や文化を活用した魅力の創出 2. 多様な人が交流できる場をつくる 3. 住んでいる人の愛着や誇りの醸成
久谷	<めざすまちの姿>
	里山の風景のなか、人と人とが語らいお接待の心が広がるまち
	<実現に向けた方針>
	1. 里山とともに守られてきた物語を未来につなぐ 2. 全国に通じる宝をいかした“久谷”のブランディング 3. 地域の特性をいかした交流の場づくり

5. 構想の進行管理

- ・各地域が掲げる「めざすまちの姿」を達成するために、地域と行政が行う取組それぞれを整理して実行していくため、今後3年間で実行取組を整理した実施計画を作成します。
- ・実施計画に位置付けた取組は、成果や課題を振り返り、翌年度以降につなげるなど、適切な進行管理を行います。